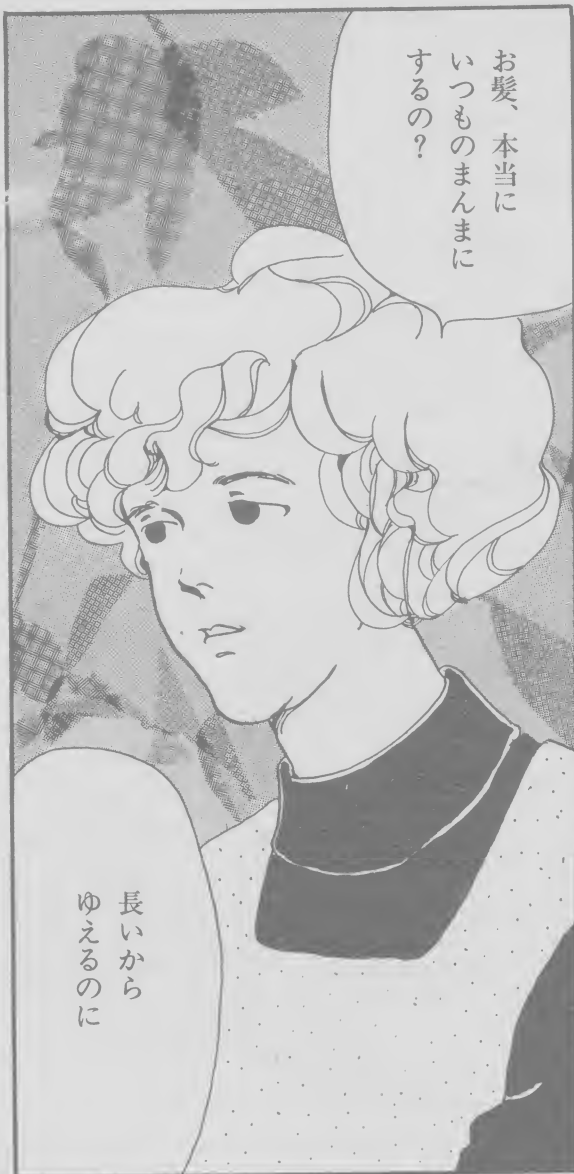
# 成人の日

松本充代

父も母も私の育て方を
まちがったと言う
きっとそうなのかもしれない

お髪、本当に
いつものまんまに
するの？
長いから
ゆえるのに

じゃあ
自分で
できる
ねえ
いい

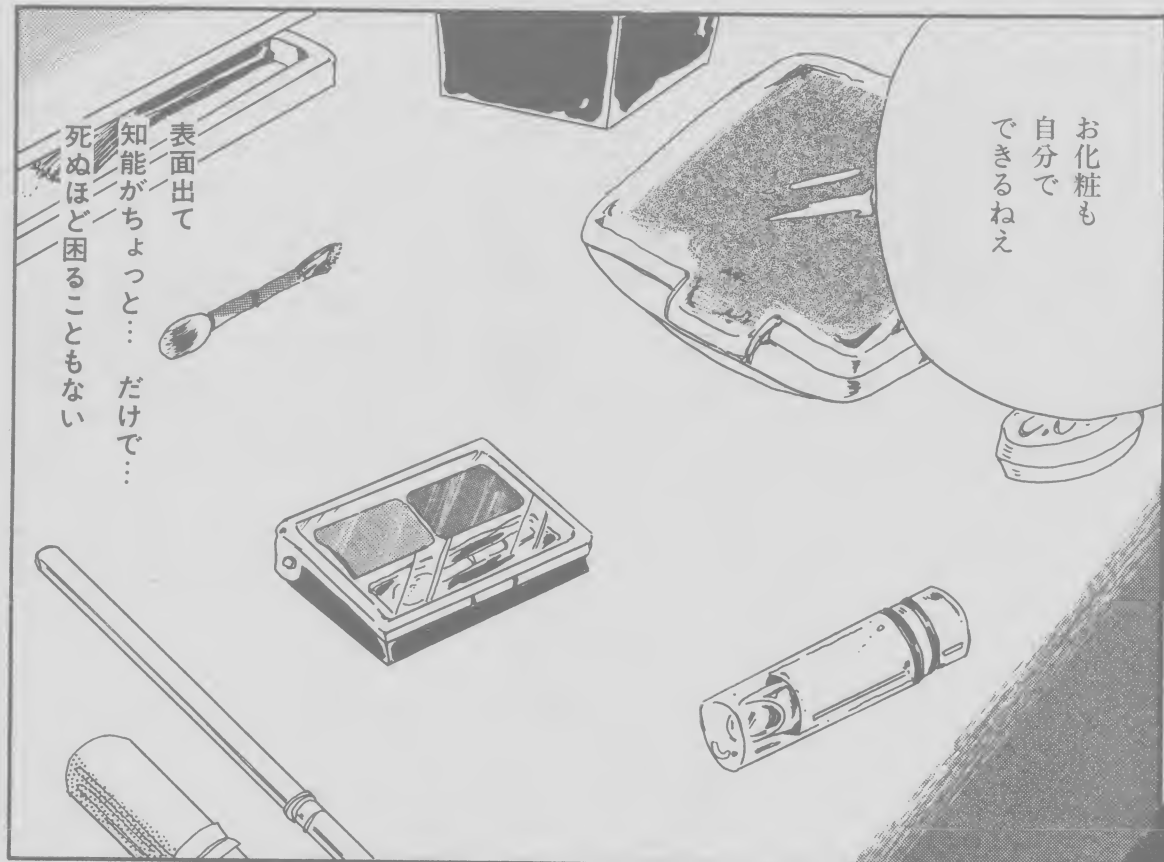
お化粧も
自分で
できるねえ

表面出て
知能がちょっと… だけで…
死ぬほど困ることもない

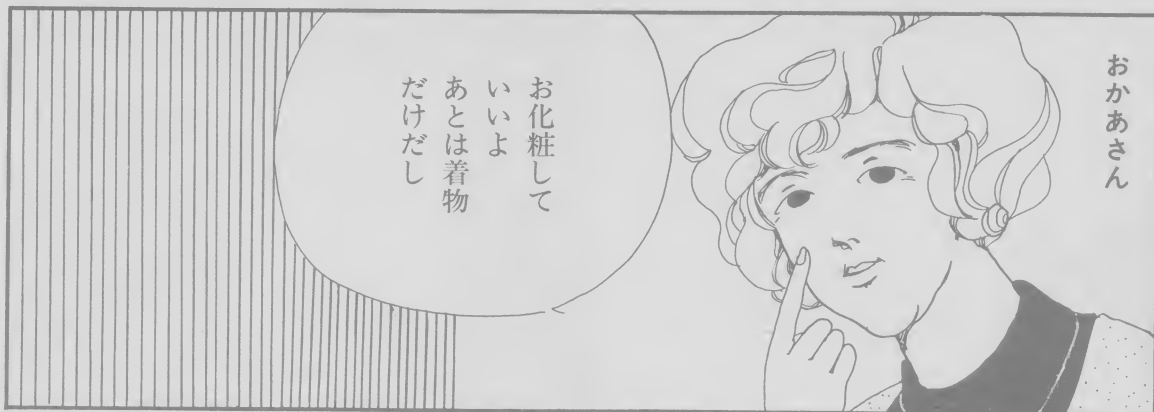
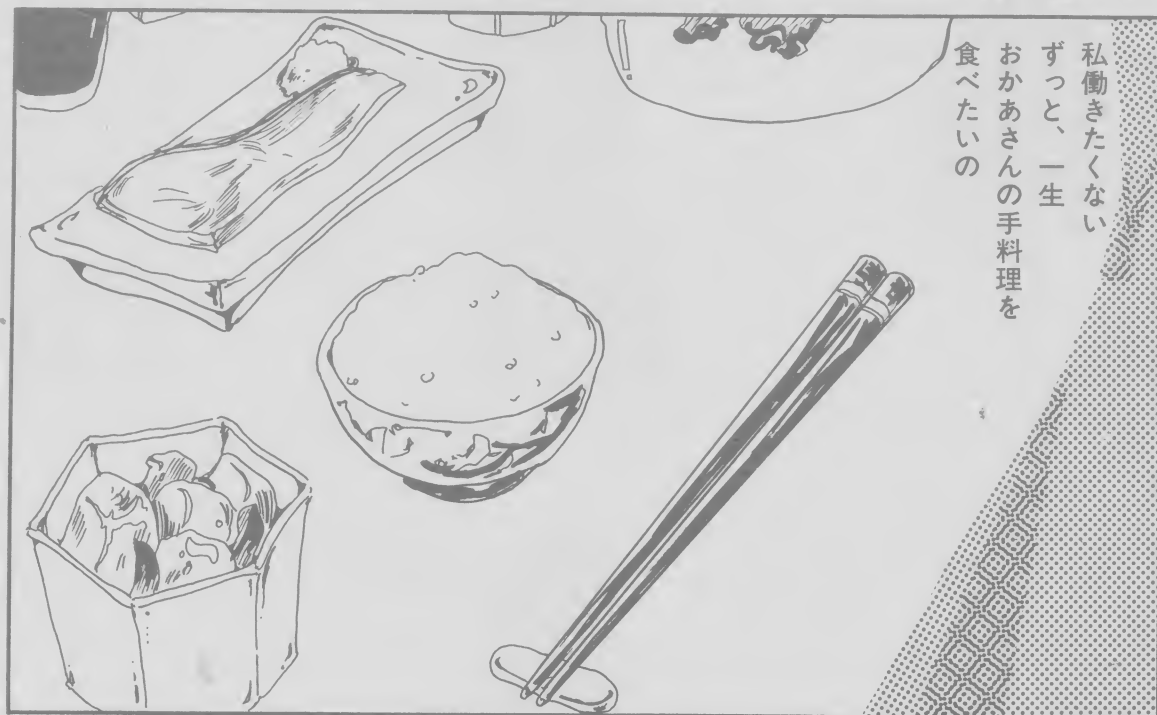
おかあさん、知ってる？
私、本当に知能がひくいの

私世間にそぐえない

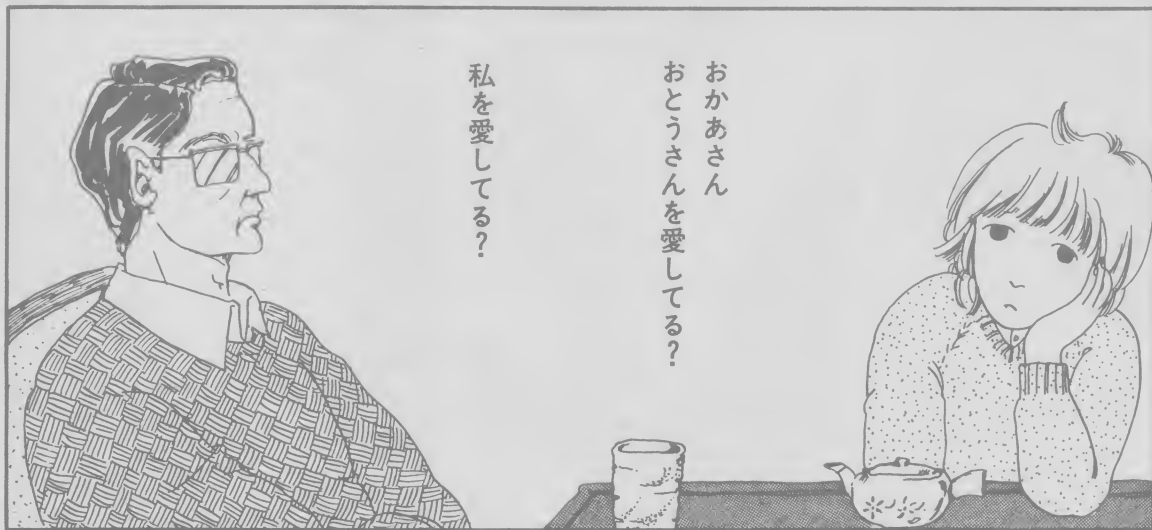
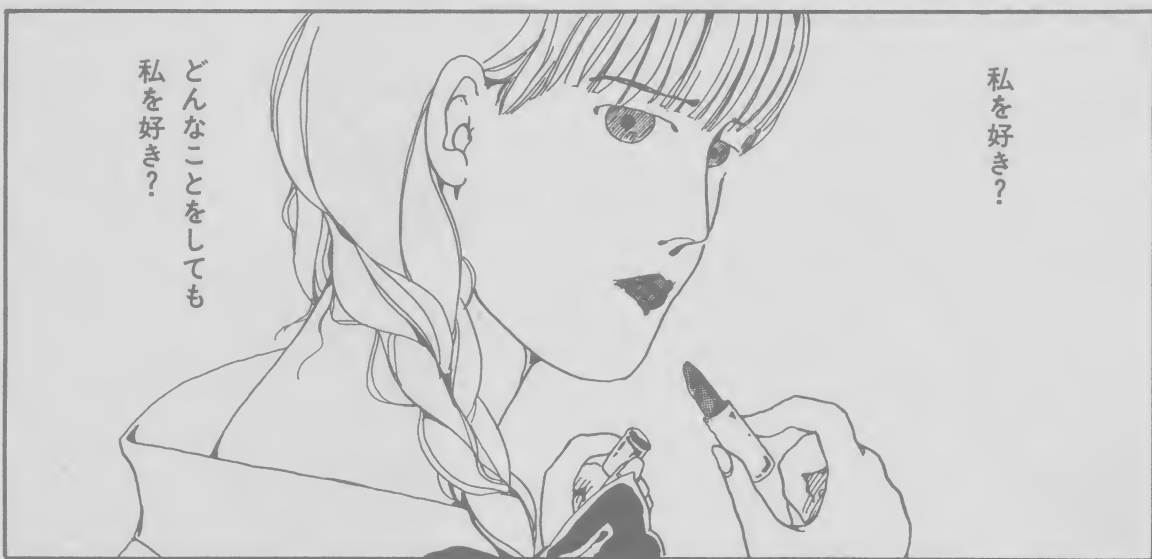
私つまんない人間だから
明るくできないから

人の視界で私が消えればいい

おかあさん

私 コンプレックスだらけで
つぶれちゃいそう
きゅ

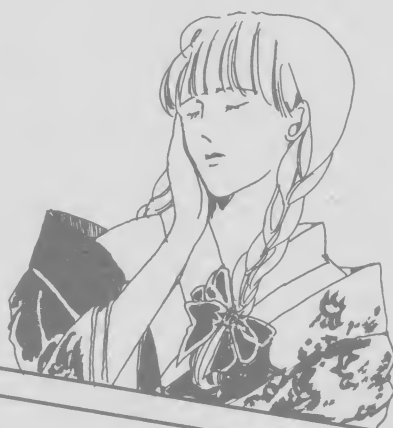
いつも人の目意識して
意識して人をさけるの
だって
知能がひくいの
知られるのこわいわ
バカなの
知られるのいやなの

おかあさん
お化粧して
いいよ
あとは着物
だけだし

私働きたくない
ずっと、一生
おかあさんの手料理を
食べたいの

おかあさんがいなくなる前に
私がいなくなりたい
私　自分で自分が
おもいの

おかあさん、
私 人をおもわない
どうしても
うけいれられないの

おかあさん
おとうさんを愛してる?
私を愛してる?

私を好き?
どんなことをしても
私を好き?

どうしよう?

あああ おかあさん
私にもっとおしえてちょうだい

一から十まで
同じこと
何十回も何百回も
何千回も何万回も
私がちゃんと
覚えるまで
私が私を
自由にあやつれるように

おかあさん
東京の夜空はね
怖くない

星がねあんまり見えないから
空がね、せまいから
私は息がつまらない

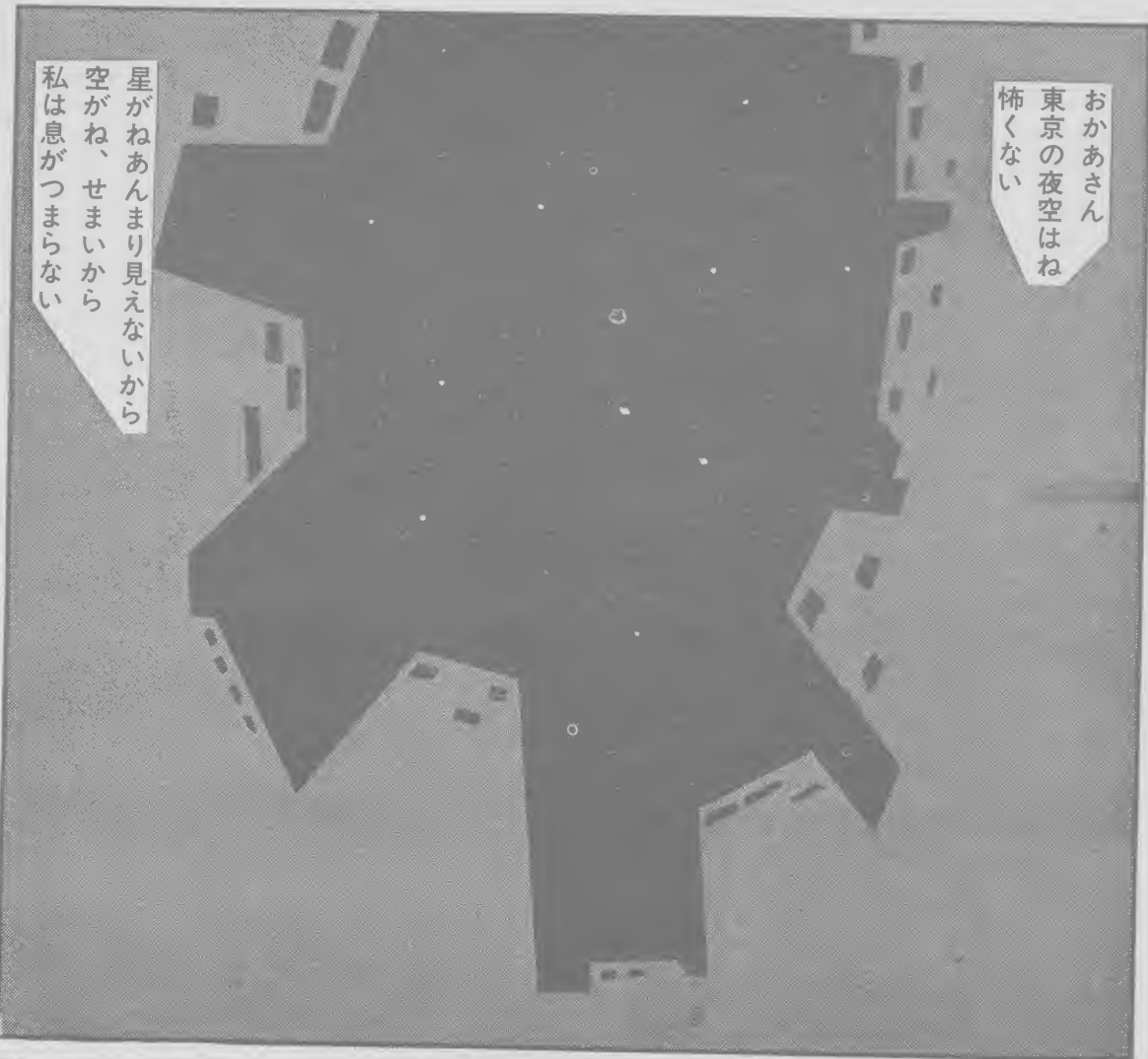
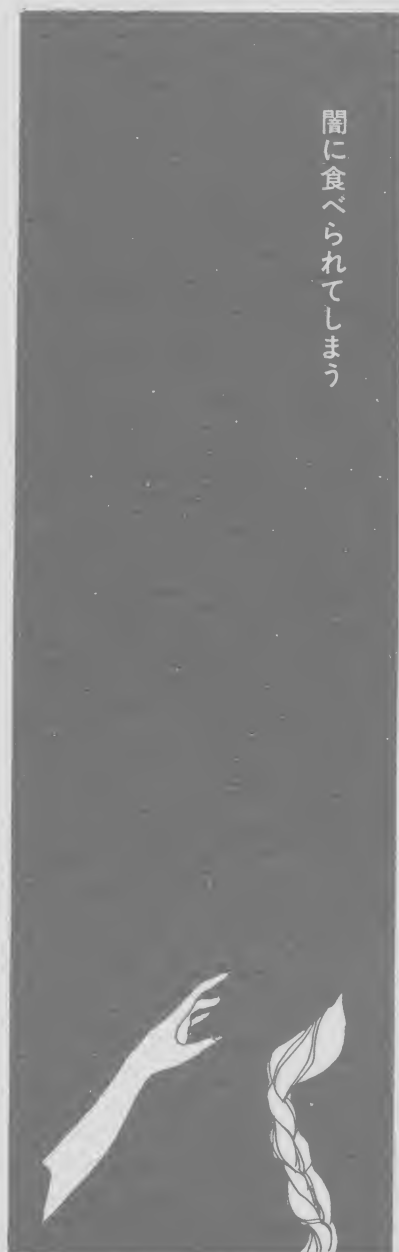
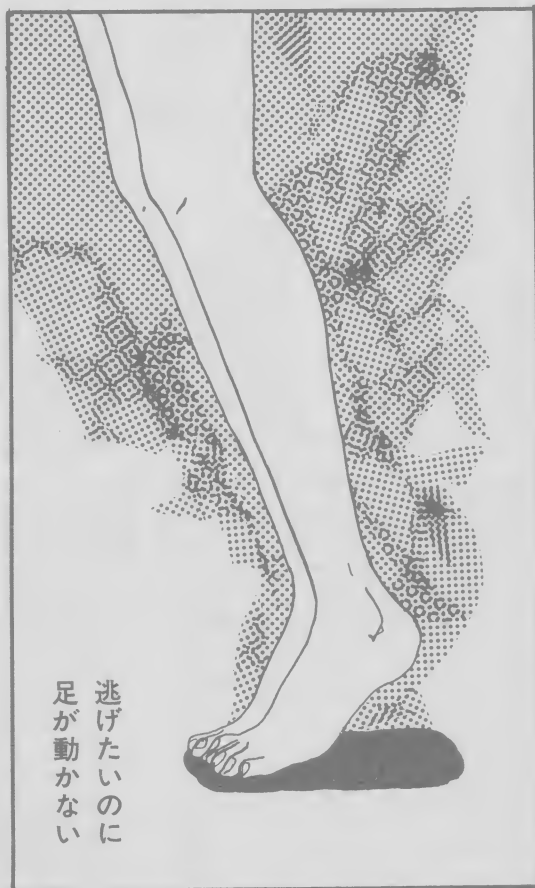
ぎゅうづめの夜
死にたくないから
歩く
だけど
頭の中の夜の
いなかの夜の
ラッシュの
夜空の中で

星がおちてくる

空にすいこまれる

闇に食べられてしまう

すんだ空気にも
息がつまる

どこで生きよう
おかあさん

いやだたすけておかあさん
私 どこへもうごきたくない

完